
着替えのできる金魚の話

神崎翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

着替えのできる金魚の話

【Nコード】

N4823Q

【作者名】

神崎翼

【あらすじ】

金魚と人間の、ギヤマン越しの殺伐。

（前書き）

少々殺伐してます。苦手な方注意。

どこまでも澄んだ清潔な水が満ちる、職人が手掛けた硝子細工の部屋。

（光を遮らない、逃げ場所もない、ただ美しい無色の檻）

その中にある、小さな衣装部屋。彩の世界が詰め込まれた、彼女の空間。

（けれど何一つとして彼女のものはない。これはすべてあいつのもの！）

こんこん、とガラスがノックされる。

（ノブもなければ扉もない。つまり出口はない。すべては壁）

早く出ておいで、と彼の声がする。

（気まぐれ野郎めと罵りながら服をひつつかむ。これは救いかそれとも錠か）

「やあ。ようやく出てきた。今日は琉金なんだね。よく似合ってるよ」

「うるさい。気に入らなかったら殺すくせに！」

「やだなあ。そんなことしないって」

「うそつきめ」

「嘘じゃないよ」

ただ着替えさせるだけだよ、僕直々にね、と彼は笑った。

（彼女が人の体温で火傷を負うことを知りながら。彼は笑った！）

「でも今は黒色のやつがみたいな。蝶尾だっけ。それでしばらく泳いでてよ。眺めておくから」

「……………」

「ねえ、ダメ？」

そうして彼は了解が返ってくることを疑わない目で問いかける。

（彼女を殺す手段を常に掌に握っている彼に疑う余地はない。そして彼女に選ぶ余地はない！）

「……………仰せの、ままに」

「うん」

彼は満足して、彼女はギリリと唇を噛み締めそれでも唯々諾々と着替えに戻る。

（命を天秤にかける手間すらいらぬ。主従とは。隷属とは）

そしてすぐに、ひらひらと美しい裾をはためかせ、彼女はたゆたった。

（閉じ込められた世界で、黒が舞う。彼の仰せのままに）

黒い金魚が水の中を泳いでいた。

（後書き）

人によって作られた、人に支配権のある魚の話。

金魚は好きです。

お読みいただきありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4823q/>

着替えのできる金魚の話

2011年2月1日15時18分発行